

複雑性悲嘆 (CG) 研修会のご案内

本研修会は、複雑性悲嘆やそのリスクの高い人たちへの専門的なケアや治療について、検討や意見交換を行う場として、平成22年に立ち上がりました。今回で9回目になります。

第9回CG研修会では、第1部は助産師で日本で初めて遺伝カウンセラーの資格をとられた佐々木規子先生に、周産期のいのちの問題に関わるグリーフについて、第2部は家族療法家として臨床・研究に活躍されている石井千賀子先生に、支援者自身の問題を扱う「原家族のワーク」を演習をまじえてご講演頂きます。

「 第9回 複雑性悲嘆(CG)研修会 」

日時： 平成30年3月4日(日曜日) 午前11時～午後5時 (受付は10時40分より)

場所： 大阪 関西学院大学梅田キャンパス (大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー14階)
1405教室 14階に会場がありますので、直接お越し下さい。

場所は右のURLでご確認下さい。 http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/access/
阪急梅田茶屋町出口より北へ徒歩 6～7分 JR大阪駅より徒歩10分

対象： 悲嘆のケアや治療に関わる専門職(看護師、医師、心理職、ソーシャルワーカー、教師等)、
介護支援や家族支援に関わる専門職、関連領域の研究者・大学院生 など

研修費： 5000円 (当日、受付でお支払い下さい) 定員： 50名

内容： 第1部 午前11時～12時半

「 出生をめぐるグリーフ ～周産期の現場から～」

長崎大学生命医科学域看護学系 リプロダクティブヘルス分野

看護師・助産師・遺伝カウンセラー 佐々木規子先生

第2部 午後13時半～16時半

「 臨床におけるテーマを、支援者の原家族体験から振りかえる ～支援者自身のジェノグラムを用いたワーク～」

TELLカウンセリング 家族療法家 石井千賀子先生

第3部 16時半～17時半 質疑応答、意見交換

お申し込み：当日、配布資料を用意したいと考えておりますので、人数把握のため、事前に裏面の用紙をファックス(甲南女子大学 瀬藤研究室FAX番号 078-413-3629)して頂くか、もしくは同様の内容をEメール(瀬藤乃理子 noriko.setou@gmail.com)にてお伝え下さい。また、「グリーフ&ビリーブメント研究会」のウェブサイトからインターネット上でお申し込みも可能です。(インターネットからのお申し込みはPCに限りますので、ご了承ください。)

その他：・研修会終了後、懇親会を予定しています。どうぞご参加下さい。(17時半～19時半)

・お問い合わせ先：甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 瀬藤乃理子(Eメールは上述)

研修会講師のご紹介



<第1部 講師> 佐々木 規子 先生

長崎大学生命医科学域看護学系リプロダクティブヘルス分野 助教

1993年長崎大学医療技術短期大学部特別専攻科助産学特別専攻修了。その後、現長崎大学病院で6年間の助産師勤務を経て、1998年母校の長崎大学医療技術短期大学部へ助手として着任。病院勤務で経験した胎児異常の母親へのケアで抱いた無力感を忘れられず、2003年に信州大学大学院遺伝カウンセラーコースへ進学。臨床遺伝学、遺伝カウンセリングを学ぶ。2005年に現在の職場へ助手として着任。同年、認定遺伝カウンセラーの資格を取得し、長崎大学病院の遺伝カウンセリングに従事。併せて長崎大学遺伝教育プロジェクトメンバーとして、子ども達に遺伝の本質である「多様性」、「唯一性」に基づく生命の尊厳を伝える講座を開催。

<第2部 講師> 石井 千賀子 先生

TELLカウンセリング 家族療法家 ルーテル学院大学 非常勤講師

米国家族療法学会および日本家族療法学会認定スーパーヴィアザー。米国バトラー大学大学院修士号(夫婦家族療法専攻)取得。統合的家族療法と「あいまいな喪失」の臨床と教育に携わる。著書に「ミドルエイジの問題: 家族療法の視点から」(キリスト新聞社)監訳書に「あいまいな喪失とトラウマからの回復: 家族とコミュニティのレジリエンス」(誠信書房)など。

「あいまいな喪失」を提唱するボス博士は、セラピスト自身の原家族体験が対象者との関係性にもちこまれ、セラピーに影響が出ることがあるため、セラピストの原家族ワークを勧めています。当日、安全な関係を作り出しながら、各自のジェノグラムを丁寧にふり返り、支援者自身のテーマに気づき、さらにレジリエンスにも目を向けることを目指します。

受講申し込み書

フリガナ		ご職業 (職種)	
氏名			
ご所属	名称:		
連絡先	※○をおつけ下さい 勤務先 ご自宅		
	住所: 〒		
	電話:	E-mail:	
	※研修会終了後の懇親会の参加希望※	希望あり	希望なし

FAX送信先: 甲南女子大学 瀬藤乃理子 FAX番号 078-413-3629

*** 受講者の方に、事務局より連絡が入る場合がございますので、必ずメールアドレスは楷書で書いて頂きますようお願い致します。**



○「第9回複雑性悲嘆研修会」のウェブページができました。グリーン&ビリーブメント研究会のウェブサイト (<http://gandb.net/>) でご覧いただけます。グーグルやヤフーなどの検索サイトでは、「複雑性悲嘆研修会」と検索すると、アクセスできます。

○CG(複雑性悲嘆)研修会の案内をご希望の方は、甲南女子大学の瀬藤 (noriko.setou@gmail.com) までメールでご連絡下さい。